

教 員 氏 名	松永 康史	職 位	准教授
最 終 学 歴	佐賀大学大学院教育学研究科 修士課程 修了		
学 位	修士（教育学）		
役 職		委員会	入試委員会
担 当 科 目	道徳教育の指導法、社会科教育法、社会、生活科教育法、生活、保幼小連携基礎論、保幼小連携総論、教育実習指導Ⅳ、学校インターンシップ指導、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習ⅡA・ⅡB、卒業研究演習、教職実践演習（幼・小）		
教科書・教材・教育方法の実践例	元小学校教諭の経験を踏まえ、教材研究や授業実践の分析について具体的な検討を行う。また、指導方法の工夫などを学ぶことができるようにする。		
教育研究業績	1. 「道徳科における『個性』概念と発達障害－障害理解との接統一」（単著）日本道徳科教育学研究学会『道徳科教育学研究 第6巻』2026年3月、4-13頁 2. 「主体性の捉え方がもたらす幼保小接続の課題 —インタビュー調査を手がかりとして—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第31号』2025年3月 3. 「社会科教育と個に応じた指導（2）—個別最適な学びの捉え方—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第29号』2024年3月 4. 「社会科教育と個に応じた指導—『小学校教育課程一般指導資料Ⅲ—個人差に応じる学習指導事例集—』を事例として—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第28号』2023年11月 5. 「『深い学び』の実現を目指す生活科の授業づくり—コロナ禍における実践を事例として—」（共著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第25号』2022年3月 6. 「『どっちスピーチ』から課題追究へ」『社会科教育 58巻7号』2021年7月、明治図書、60-63頁 7. 「幼小接続と特別の教科 道徳 —小学校入学期における道徳科への視座—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第23号』2021年3月 8. 「自己を見つめ直す契機としての対話的な学び—奈良少年刑務所における寮美千子の『絵本と詩の教室』を事例として—」（単著）『中部教育学会紀要 第20号』2020年6月 9. 「幼小接続期の援助や支援に関する考察—絵本『しょうがっこうがだいすき』を事例として—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第21号』2020年3月 10. 「教師の内面と子ども理解—『鈴木先生』第1、2話を教材にした授業の構想—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第20号』2019年11月 11. 「歴史授業と『なりきり日記（作文）—歴史授業において『歴史日記』を書くことの意義を探って—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第18号』2018年10月 12. 「『考え、議論する道徳』と対話的な学び（2）—内容項目『個性の伸長』についての考察—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第17号』2018年3月 13. 「『考え、議論する道徳』と対話的な学び—対話による授業づくりへの視座—」（単著）『桜花学園大学保育学部研究紀要 第16号』2017年10月 14. 「幼小接続を見据えた教員養成の在り方に関する研究—幼稚園教諭及び小学校		

	教諭免許取得を目指した教育実習指導の課題と展望―」（共著）『桜花学園大学 保育学部研究紀要 第16号』2017年10月 15. 「どっちスピーチ」活動の可能性と課題」（共著）『愛知教育大学教職キャリア センター紀要 第1号』2016年3月 16. 「模倣による学習に関する事例研究―言語感覚を養う―」（共著）『愛知教育大 学教育創造開発機構紀要 第5号』2015年3月 17. 「市民的な資質をはぐくむための授業づくり―「言語活動」を手がかりにして ―」（共著）『愛知教育大学教育創造開発機構紀要 第4号』2014年3月
所属学会	日本臨床教育学会 日本社会科教育学会 中部教育学会 日本教育学会 日本教育方法学会 日本道徳科教育学研究学会